

セメスター留学便り 12月（引率教員版）

四か月のセメスター留学も無事に終了しました。最後の12月を振り返ります。

【行事等】

7日（水） 南開大学浜海学院日本語科の授業に参加。三年生クラスと二年生クラスと交流しました。浜海学院は系列校ですが、南開大学から車で一時間ほどの開発区にあります。

<http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/diary111207.html> もご参照下さい。

9日（金） 企業見学。フランスとの合弁会社である「王朝」を見学。ワイン製造工程や、貯蔵庫を見学しました。

22日（木） 修了式及び発表会。修了式では証書授与と各種表彰が行われました。今年は皆勤賞が多かったとのこと。式の最初には、学生全員と学修・生活風景を紹介する映像が流れました。式の最後には、学生全員で中国語の歌を合唱しました。

発表会。文化講座の二胡・京劇・武術および太極拳や、中国語劇・朗読などの発表が行われました。準備期間が短かったわりにはよくできていて、見ていて面白かったです。

<http://www.kokugakuin.ac.jp/guide/diary111222.html> もご参照下さい。

25日（日） 帰国に備えて北京に移動し、一泊。慣れ親しんだ南開大学ともお別れです。

26日（月） 北京 16:40 発の J L 024 便で羽田空港到着。約四か月ぶりに日本の地を踏みました。最後の二日はバスで移動しましたが、いつもバス内ではにぎやかだった学生も大人しかったのが印象的でした。それぞれに留学を振り返っていたのではないのでしょうか。

【学修面】

4日（日）にはHSKの試験があり、4級・5級を受験しました。事前の模擬試験では、どの学生も9月の成績よりかなりよい結果を出していましたが、本番ではいかに。

19日（月）・20日（火）には最後の試験が行われ、22日の修了式にはさっそく成績表も渡されていましたが、みな無事に合格しました。

【その他】

12月はHSKに期末試験、発表会の練習、帰国準備と忙しく、最後の二、三週間はとくに慌ただしかったようです。

「楽しかった」「留学してよかった」「中国が好きになった」という声も聞かれ、学生たちがよい経験をしたことが窺えます。また、「まだ帰りたくない」という声もありました。まだまだ勉強したいという気持ちを、帰国後の学修につなげて欲しいと思います。

引率者・佐川 記